

平成27年度
事業状況報告書

社会福祉法人 明正会

目 次

法人全体事業状況	2
介護老人福祉施設青空本館	12
介護老人福祉施設青空新館	17
通所介護ポピー	21
軽費老人ホーム・特定施設入居者生活介護桜草	26
認知症対応型共同生活介護さくらんぼ	29
居宅介護支援事業所 りんどう	32
訪問介護ひまわり	35
サービス付高齢者向け住宅グランドケア琥珀	38
通所介護みのり	42
訪問介護雅	46
地域密着化型ユニット型介護老人福祉施設四季咲きの杜	50
定期巡回・随時対応型訪問介護看護蛍ケアセンター	54
居宅介護支援事業所 彩	57

I 法人事業状況報告

法人本部

1 法人全体事業状況総括

平成27年度、介護報酬が改訂され法人全体で大幅な減収が見込まれる厳しい年度の開始となりました。

中核施設である介護老人福祉施設において、また、各部署における介護予防給付は事業存続を脅かすほどの減収となります。また、他施設との競合、競合による介護職員の不足はこの地域においても顕著に表れています。

前年度末に対応策をまとめ、各部署とも対応準備を行い、新年度を迎え運営を行ってきました。対応策は概ね成果を上げることが出来た一方、基本となる稼働率、介護職員採用等に課題が残ることとなりました。

稼働に関しては、より広くサービス事業形態を展開する必要性を見据え、事業計画に掲げた定期巡回・随時対応型訪問介護看護を本庄市に12月1日に開設し、平成28年度4月開設に向けて上里町定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業開設準備を行ってきました。

サービス種別の拡大は、より一層選択肢を広げることとなりますが、事業所間の連携と情報の共有が必要となります。

28年度は、事業計画にこれらの点について掲げ強化することとしています。

しかし、介護職員の不足が見られる現状では事業所の増加は更に難しい課題でもあります。事業所間の柔軟な異動や働く者にとっても選ばれる施設作りが必要です。単に給与の問題としてだけで捉えるのではなく、働きがいと充実感が得られる職場作りを環境・待遇を含めた強化が必要となります。

一方で、社会福祉法人改革が予定されている中、法人では公益性や役割を果たすことが出来るよう独自の事業を展開してきました。

平成27年度は、新規事業の準備の関わりを強化したため、十分に対応することが出来ませんでした。28年度では、従前の取り組み内容を精査し、内容の再検討を行い実施するとともに、県老協事業の参画を行う事とします。

事業規模が広がり、職員総数も増える中では個々の対応に頼るのではなく、法人のシステムとして対応する必要があります。多様性を認め合うことが出来なければ、事業継続に支障が起きることとなります。

平成27年度は、事業規模について成果を残し、その運用性に課題が残る年度となりましたが、課題を次年度において一定の成果を上げるように努めます。

2 法人事業概要

(1) 実施事業

平成27年	4月 8日	不在者投票（埼玉県議会議員選挙）
	5月22日	理事会・評議員会
	6月 3日	法人施設内研修
	7月 4日	役員懇親会
	19日	上里エリア納涼祭
	8月 5日	不在者投票（埼玉県知事選挙）
	8月25日	埼玉県北部福祉事務所整備計画審査会
	9月27日	四季咲き祭り
	10月 7日	法人施設内研修
	12日	琥珀祭
	30日	本庄市による四季咲きの杜監査
	11月11日	理事会・評議員会 埼玉県住宅課による琥珀監査
	12月 1日	定期巡回・随時対応型訪問介護看護センター開設
	22日	避難訓練・もちつき会
	25日	上里町定期巡回事務所建築工事入札 理事会・評議員会
	30日	本庄市元町自治会役員定期巡回説明会
平成28年	1月15日	上里町定期巡回事務所建築工事再入札
	2月 9日	健康祈願祭
	18日	介護ロボット「ハル」見学会
	23日	理事会・評議員会
	3月25日	上里町定期巡回事務所引き渡し
	※毎月第二水曜日	運営会議・稼働率会議

(2) 法人施設内研修実施状況

	内 容	参加人数
6月	看取り介護研修/救急対応	69名
10月	感染症研修/身体拘束廃止	55名
2月	看取り介護研修/褥瘡予防	44名

(3) 職員の状況

①年間入職者 18名(前年度13名)(職員13名 非常勤職員5名)

②年間退職者数 32名(前年度9名)(職員9名 非常勤職員23名)

③年度末在籍者数 130.9名(常勤換算 前年度95.3名)

※職員状況資料

ア 入退職者数

部署	区分	入職者数	退職者数
特養	常勤	3	5
	非常勤	5	10
デイ	常勤	0	1
	非常勤	0	0
ケア	常勤	0	1
	非常勤	1	0
GH	常勤	0	0
	非常勤	0	1
四季咲き	常勤	0	1
	非常勤	4	4
深谷	常勤	2	1
	非常勤	3	7
他	常勤	0	0
	非常勤	0	1
計	常勤	5	9
	非常勤	13	23
総合計		18	32

月別部署別常勤換算数

部署	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	常勤	33	32	33	33	33	33	33	33	32	32	31	31	32.4
	非常勤	15.2	15.2	14.2	13.2	12.5	11.9	11.9	12.9	13.4	12.4	13.4	13.4	13.3
	計	48.2	47.2	47.2	46.2	45.5	44.9	44.9	45.9	45.4	44.4	44.4	44.4	45.7
短期	常勤	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8.0
	非常勤	1.1	1.1	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0	0	0	0.6
	計	9.1	9.1	9.1	9.1	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8	8	8	8.6
特養計		57.3	56.3	56.3	55.3	54.1	53.5	53.5	54.5	54	52.4	52.4	52.4	54.3
デイ	常勤	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.3
	非常勤	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
	計	8.1	8.1	8.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.4
ケア	常勤	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8.5
	非常勤	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	5.4
	計	14	14	14	14	14	14	13	14	14	14	14	14	13.9
GH	常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
	非常勤	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	1.8	2.7
	計	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	5.8	6.7
居宅	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2.7
	非常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2.7
訪問	常勤	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1.5
	非常勤	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	1.2
	計	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
四季咲き	常勤	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	13.5
	非常勤	5.9	5.9	5.9	6.5	5.5	5.9	5.9	5.5	5.5	5.5	5.5	5.9	5.8
	計	18.9	18.9	18.9	19.5	18.5	18.9	19.9	19.5	19.5	19.5	19.5	19.9	19.3
深谷	常勤	6	6	5	5	5	8	8	8	8	8	9	9	7.1
	非常勤	7.4	7.4	7.4	6.7	3.7	4.7	4.9	3.4	3.4	3.4	2.4	2.4	4.8
	計	13.4	13.4	12.4	11.7	8.7	12.7	12.9	11.4	11.4	11.4	11.4	11.4	11.9
蛍・彩	常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	9	7	9	10	2.9
	非常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	0.6
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	10	9	11	12	3.5
清掃	非常勤	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.8	1.3
	常勤	82	81	81	80	80	83	84	84	91	89	91	92	84.8
	非常勤	43.5	43.5	42.5	41.4	36.2	37	36.2	36.3	37.8	37.2	37.2	37.1	38.8
合計		125.5	124.5	123.5	121.4	116.2	120	120.2	120.3	128.8	126.2	128.2	129.1	123.7

3 財務の状況

(1) 貸借対照表

平成 28 年 3 月 31 日現在

流動資産	205,257,297	流動負債	171,170,253
固定資産	1,143,041,293	固定負債	554,631,760
		純資産	638,724,377
資産合計	1,348,298,590	負債純資産合計	1,348,298,590

(2) 事業活動計算書

自：平成 27 年 4 月 1 日 至：平成 28 年 3 月 31 日

介護保険事業収益	727,832,602
老人福祉事業収益	44,285,424
経常経費寄附金収入	489,068
サービス活動収益計	772,607,094
人件費	482,002,543
事業費	121,691,876
事務費	152,029,235
減価償却費	67,816,474
国庫補助金等特別積立金取崩額	△32,614,879
サービス活動費用計	790,925,249
サービス活動増減差額	△18,318,155
サービス活動外収益計	1,124,218
サービス活動費用計	9,046,518
サービス活動外増減差額	△7,922,300
経常増減差額	△26,240,455
特別収益計	133,781,000
特別費用計	133,781,000
特別増減差額	0
当期活動増減差額	△26,240,455
前期繰越活動増減差額	74,129,466
次期繰越活動増減差額	47,889,011

(3) 資金収支計算書

自：平成 27 年 4 月 1 日 至：平成 28 年 3 月 31 日

介護保険事業収入	727,832,602
老人福祉事業収入	45,197,791
経常経費寄附金収入	489,068
受取利息配当金収入	7,485
その他の収入	1,103,647
事業活動収入計	774,630,593
人件費支出	483,219,903
事業費支出	122,592,157
事務費支出	152,029,235
支払利息支出	4,727,090
事業活動支出計	762,568,385
事業活動資金収支差額	12,062,208
施設整備等補助金収入	133,781,000
設備資金借入金収入	89,000,000
施設整備等収入計	222,781,000
設備資金借入金元金償還金支出	94,526,428
固定資産取得支出	134,396,437
施設整備等支出計	228,922,865
施設整備等資金収支差額	△6,141,865
その他の活動収入計	69,141,822
その他の活動支出計	75,543,462
その他の活動資金収支差額	△6,401,640
当期資金収支差額合計	△481,297

4 栄養管理室

平成27年度各部署月別提供食数

(1) 介護老人福祉施設「青空」

	朝食	昼食	おやつ	夕食
4月	2,527	2,554	2,554	2,534
5月	2,672	2,689	2,705	2,674
6月	2,545	2,566	2,590	2,551
7月	2,695	2,712	2,664	2,700
8月	2,719	2,747	2,776	2,726
9月	2,649	2,663	2,701	2,649
10月	2,630	2,658	2,691	2,641
11月	2,529	2,559	2,603	2,541
12月	2,301	2,754	2,838	2,726
1月	2,748	2,781	2,874	2,757
2月	2,606	2,640	2,698	2,617
3月	2,767	2,786	2,859	2,768

(2) ケアハウス「桜草」(特定施設入居者生活介護)

	朝食	昼食	おやつ	夕食
4月	728	679	0	736
5月	745	699	0	752
6月	750	705	0	756
7月	800	762	0	816
8月	831	798	0	836
9月	774	731	0	777
10月	797	751	0	811
11月	832	780	0	843
12月	843	772	0	848
1月	819	756	0	814
2月	795	732	0	800
3月	848	776	0	858

(3) グループホーム「さくらんぼ」

	朝食	昼食	おやつ	夕食
4月	236	229	0	236
5月	228	227	0	227
6月	237	229	0	238
7月	236	239	0	236
8月	246	243	0	246
9月	238	237	0	238
10月	248	238	0	238
11月	211	211	0	211
12月	246	243	0	246
1月	245	243	0	245
2月	229	228	0	229
3月	246	244	0	246

(4) 通所介護「ポピー」

	朝食	昼食	おやつ	夕食
4月	0	415	415	0
5月	0	427	426	0
6月	0	443	443	0
7月	0	479	478	0
8月	0	432	432	0
9月	0	430	436	0
10月	0	433	433	0
11月	0	449	451	0
12月	0	414	397	0
1月	0	368	334	0
2月	0	384	403	0
3月	0	427	408	0

5 施設管理室

1 年度総括

平成 27 年度は、各エリアとも事業所の充実が図られ、建物・設備の維持管理にかかる業務や修繕箇所も多種多様になり、施設機能を安全な状態に保ち、充実させてゆくことに取組みました。

各拠点ごとの使用設備にかかる法定検査や定期点検の実施時期を施設ごとに把握できる一覧表を作成し、関係機関とも連絡調整を速やかに行えた事や、設備機器を日常の点検を行う事で、事前に不具合発生の予防に取組めたことは、職場環境が充実するための維持管理に取組めたと思います。

また、今後は建物・設備関係のチェック表や機器の台帳を作成することと、省エネに対する意識付けなどにも取組んで行き、施設機能の充実に取組んでゆきます。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ① 各エリアごとの建物・設備関係の把握を行い適切な維持管理を行うために、設備点検、検査業務の一覧表の作成。
- ② 施設建物等の不具合箇所や職員からの要望に迅速に対応し、施設の質の維持管理を実施。

(2) 研修等事業

①施設内研修

- ・ 救急対応・看取り介護研修
- ・ 感染症・身体拘束・虐待防止研修
- ・ 看取り介護・褥瘡予防研修

②施設外研修

- ・ 平成 27 年度障害者雇用啓発セミナー

(3) 行事事業

- ・ 全エリア法定検査立会い
- ・ 上里エリア防災訓練 年間 3 回
- ・ 深谷エリア防災訓練 年間 2 回
- ・ 本庄エリア防災訓練 年間 2 回

事業状況報告書

介護老人福祉施設青空本館

1 年度総括

介護老人福祉施設は、地域福祉の拠点としての役割が求められています。これまでの生活支援施設・重度化、看取り介護等に対応した施設としての役割を果たしつつ、地域へのサービス提供や人材の活用・地域活性化支援など地域包括ケアシステムの中で、地域と共存し積極的に地域貢献に努めることが必要です。一方、介護報酬改定等による収入減少、人材不足による人員確保の問題など運営の基礎要素が不安定となっています。

しかし、これらの要因を相反していることと捉えるのではなく、融合する運営と将来展望を見据えて事業の継続に向けた取り組みが必要です。

平成27年度事業計画では、介護支援計画に重点を置くこと及び介護保険制度改正に対応した運営を掲げて運営にあたりましたが、事業計画個々の内容を自らのものとして事業運営にあたる事が出来ず、全体的な方向性の喪失から運営の一体性が欠ける結果となりました。

介護計画の作成を「当たり前の生活、日常生活の継続」の目標から介護方法などが決定される一連のプロセスは、欠かせないものではありませんが、日々の業務に直結することが出来ず、職種間で共有が出来ませんでした。仕事に携るスタンスや処遇の方向性を共有することが出来なかった要因は、自立・自覚にあたり、本来の役目を多様性の中で認め合い、自ら考え行動するに欠けていたことです。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ① 半年に1回の定期カンファレンスを廃止し、更新時、状態変化時、看取り介護開始時を原則として開催。
- ② アセスメントは、担当職員が責任を持って行い、入所前の生活様式、こだわり等可能な限りの情報収集を行う。
- ③ 看取り介護開始時に、カンファレンス開催を原則とし、看取り介護計画に沿って支援し、終末期は、些細な状態変化を申し送り、誰でも家族に説明できる連絡体制。
- ④ 口から食べることの支援にこだわり、そのために必要な支援。口から食べることは健康維持するために重要な行為であるため、咀嚼・嚥下等重点的なアセスメントを行う。

(2) 研修等事業

①施設内研修

- ・ 4月 マナー研修
- ・ 6月 救急対応・看取り介護

- ・ 10月 感染症・身体拘束・虐待防止
- ・ 2月 看取り介護・褥瘡予防

②施設外研修

- ・ 感染症基礎研修

(3) 行事事業

- ・ 毎月の誕生日会実施（ボランティア参加）
- ・ アニマルセラピー 毎月第2日曜日
- ・ 音楽療法 毎月第1・第3火曜日
- ・ 4月 園庭桜見学、大光寺祭り、避難訓練・消防訓練
- ・ 5月 園庭おやつ作り（お好み焼き）
- ・ 7月 施設納涼祭
- ・ 8月 流しそうめん、総合防災訓練
- ・ 9月 選択食（ちらし寿司、冷やし中華）、敬老会
- ・ 10月 園庭（焼き芋）
- ・ 11月 ミニ運動会
- ・ 12月 餅つき大会、クリスマス会、避難訓練（夜間想定）
- ・ 1月 青空神社初詣
- ・ 2月 豆まき、健康祈願祭、ホーム喫茶（ホットケーキ作り）
- ・ 3月 選択食（おでん、ピザ）

3 稼働状況

平成27年度 介護老人福祉施設「青空」稼働状況及び加算取得情報

() 内は前年度数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働日数	30	31	30	31	31	30
新規入所者数	4	1	0	1	1	0
退所者数	3	0	1	1	0	0
延人数	2,336	2,452	2,386	2,426	2,423	2,350
入所利用率	97.3% (97.7)	98.9% (97.3)	99.4% (97.5)	97.8% (97.5)	97.7% (96.7)	97.9% (95.5)
待機者数	77	78	82	77	78	81
要介護1	30	31	30	31	31	30
要介護2	30	12	47	25	23	53
要介護3	610	550	540	532	476	403
要介護4	1,120	1,240	1,140	1,221	1,243	1,204
要介護5	546	619	629	617	650	660
平均介護度	3.91 (3.93)	3.98 (3.95)	3.96 (3.92)	3.98 (3.89)	4.01 (3.85)	4.03 (3.85)
日常生活継続支援	2,336	2,452	2,386	2,426	2,423	2,350
加算件数・請求額	840,960	882,720	858,960	873,360	872,280	846,000
看護体制	2,336	2,452	2,386	2,426	2,423	2,350
加算件数・請求額	93,440	98,080	95,440	97,040	96,920	94,000
夜勤職員配置	2,336	2,452	2,386	2,426	2,423	2,350
加算件数・請求額	303,680	318,760	310,180	315,380	314,990	305,500
個別機能訓練	2,138	2,391	2,347	2,401	2,394	2,342
加算件数・請求額	256,560	286,920	281,640	288,120	287,280	281,040
栄養マネジメント	2,190	2,422	2,375	2,423	2,394	2,342
加算件数・請求額	306,600	339,080	332,500	339,220	335,510	327,880
口腔衛生管理体制	80	80	80	80	80	80
加算件数・請求額	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
経口維持	14	25	34	34	34	35
加算件数・請求額	70,000	125,000	170,000	170,000	170,000	175,000
療養食	60	62	90	71	68	90
加算件数・請求額	10,800	11,160	16,200	12,780	12,240	16,200
看取り介護	30	0	0	0	0	0
加算件数・請求額	65,280	0	0	0	0	0
加算請求合計額	1,971,320	2,085,720	2,088,920	2,119,900	2,113,220	2,069,620
保険請求合計額	20,321,720	21,475,590	20,892,810	21,308,540	21,526,760	20,898,300
(前年度)	21,319,330	21,969,110	21,305,320	21,907,600	21,673,750	20,761,900
前年差額	-997,610	-493,520	-412,510	-599,060	-146,990	136,400

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
新規利用者数	3	4	7	1	1	6	47	
利用終了者数	4	5	5	1	1	6	39	
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	
要介護 1	0	2	8	10	2	16	106	
要介護 2	39	46	65	43	28	73	442	
要介護 3	127	112	143	223	170	177	1,838	
要介護 4	275	238	219	195	234	210	2,338	
要介護 5	26	32	44	44	43	3	634	
延人数	467	430	479	515	477	479	5,358	
稼働日数	31	30	31	31	29	31	366	
稼働率	100% (99.6)	95.6% (100)	103% (97.6)	110% (91.8)	108% (103)	103% (101)	97.6% (97.4)	
平均介護度	3.60 (3.63)	3.59 (3.56)	3.47 (3.63)	3.43 (3.90)	3.62 (3.78)	3.26 (3.72)	3.55 (3.65)	
介護	機能訓練	459	426	473	505	467	462	5,308
	件数・請求額	55,080	51,120	56,760	60,600	56,040	55,440	636,960
	看護体制	459	426	473	505	467	462	5,308
	件数・請求額	18,360	17,040	18,920	20,200	18,680	18,480	212,320
	夜勤職員配置	459	426	473	505	467	462	5,308
	件数・請求額	59,670	55,380	61,490	65,650	60,710	60,060	690,040
	送迎	55	52	61	59	61	49	647
	件数・請求額	101,200	95,680	112,240	108,560	112,240	90,160	1,190,480
	個別機能訓練						22	22
	件数・請求額						12,320	12,320
	サービス提供体制	459	426	473	505	467	462	5,308
	件数・請求額	82,260	76,680	85,140	90,900	84,060	83,160	954,180
予防	長期利用者 提供減算	91 -27,300	111 -33,300	102 -30,600	237 -71,100	273 -81,900	247 -74,100	1,789 -536,700
	機能訓練 件数・請求額	0	0	0	0	0	0	0
予防	送迎 件数・請求額	0	0	0	0	0	0	0
	サービス提供 体制件数・請求額	0	0	0	0	0	0	0
	加算請求合計	289,270	262,600	303,950	274,810	249,830	245,520	3,159,600
保険請求合計	3,844,410	3,555,150	3,920,910	4,122,850	3,864,740	3,716,150	44,823,090	
月遅れ分 (前年度)	4,173,100	4,037,130	4,119,370	3,887,840	3,981,560	4,279,310	48,432,640	
前年差額	-328,690	-481,980	-198,460	235,010	-116,820	-506,900	-3,609,550	

事業状況報告書

介護老人福祉施設青空新館

1 年度総括

平成 27 年度は介護保険改正にあたり、その動向に合わせた事業活動を行いました。また、ケアプランから「介護職がその人らしい生活の実現に向けて支援の計画を作る」介護支援計画へと考え方を換え活動をしてまいりました。

介護保険改正に合わせた事業活動については一定の理解を得た活動を行うことが出来ましたが、今後においても法人一部署としてまた、職員個々が学習していかなければならない課題となっています。

介護支援計画の作成に当たっては、介護主任・介護支援専門員がしっかりとサポートする事が出来ずアセスメント内容が依然として希薄な部分が多く、アセスメントシートの本래の活用も行うことが出来ませんでした。年々重度化していく御利用者様に対して本当に求められる支援が出来ず、日々の業務に追われてしまうことがほとんどとなってしまいました。職員個々のしてあげたいことが出来ず、業務と御利用者様にしてあげたいことのバランスが崩れ、職員の気持ちに余裕がなくなっているのが現状です

2 年度実施事業

事業計画取り組み事項

1 ケアプランから介護支援計画へ

従来のケアプランは利用者の問題点への対応を優先したネガティブ対応型のプランに偏ってしまっていました。平成 27 年度からは、「介護職がその人らしい生活の実現に向けて支援の計画を作る」ポジティブ優先型の主眼で行っていくため名称を介護支援計画に変更し、個人のスタイルに合わせた生活目標を定め支援計画を作成していく事を目指しましたが、介護主任・介護支援専門員がしっかりとサポートする事が出来ずアセスメント内容の充実が図れず依然として課題が残る結果となってしまいました。

2 新たに経口維持加算・口腔衛生管理体制加算の取得を行います。

誰しもが食べる事への楽しみを持っており、それは介護度や障害の有無に関係なく人が生活していくうえで自然な事だと思います。健康維持と食べる事への楽しみを継続して頂くために「口から食べる事」に注力し、食事に関連した口腔衛生についても注意していく事で、中重度者の方には最後まで口から食べる事を諦めさせず、食べることを楽しんでもらうために認知機能や摂食・嚥下機能の低下・口腔衛生に注意してアセスメントを行い、楽しみを継続して頂くための支援をすることで加算の取得に繋げる事が出来ましたが一方で、制度上の理解を職員一人一人がしっかりと把握するこ

とが大切なことであり今後についても制度理解については力を入れていかなければならない課題となっています。

3 「その人らしい生活の実現」に向けて取り組んでいきます。

(1) 研修参加について

施設外研修への取り組みは、平成 26 年度同様に個々での参加を継続しつつ、担当利用者の心身の状態変化に合わせて処遇改善に必要な研修の参加を図りましたが、自発的な参加には至らず介護主任の働きかけも足りない結果となってしまいました。

(2) 利用者誕生日会について

利用者の誕生日はアセスメント内容から、どのようにお祝いされたいのかを考え個人担当がご家族等と相談し行うことが出来ました。

(3) 現入所者の介護支援計画作成について

現在入所されている方のカンファレンスは担当職員が介護支援専門員とともに実行しましたが、以前としてアセスメント内容の充実が今後についての大きな課題となっています。

(4) 新規入所者の介護支援計画作成について

新規入所者に関しては、新館全体で介護支援計画の作成に当たることとなっていたが新規入所のタイミングと勤務状況がかみ合わず実行することが出来ませんでした。

(5) 看取り介護支援計画作成の作成について

ご家族からの聞き取りと記録の記載について一定の理解のもと行うことが出来ましたが内容の充実には至らず今後についてもさらに理解を深め行動していかなければならず課題が残っています。

4 中規模ユニット型の検討を行うため、連絡会議等を活用します。必要に応じてユニット推進委員会の設置も検討します。又、ユニット型の理解を深めるために新館ミニ研修を実施していきます。

(1) 連絡会議を活用し、利用者様の生活を個別ケアによる支援とするために必要となる環境・配置等について検討を予定していましたが連絡会議上でユニット型についての検討を行うことが出来ませんでした。

(2) 新館ミニ研修について

予定通りの研修を行うことは出来ませんでした。全職員の四季咲の杜の見学を行いユニットケアの理解についての研修の実施を行いました。

5 チームケアに努めていきます。

職員一人一人が遠慮してしまい踏み込んだコミュニケーションが不足、考えや思いの

理解に苦しんでいる現状があり課題が残ってしまっています。

6 資格取得者をサポートしていきます。

職務上必要な資格については勤務体制を考慮し資格取得に繋げる事が出来ました。

研修等事業

1 施設内研修

6月：救急対応・看取り介護研修

10月：感染症・身体拘束廃止研修会

2月：看取り介護・褥瘡予防研修

2 施設外研修

9月：三好春樹新しい認知症ケア

行事事業

1 実施行事

4月：大光寺お祭り

5月：バラ見学（玉村北部公園）

6月：食べ放題（デイホール）

7月：納涼祭（園庭）

8月：流しそうめん（ホール）

9月：敬老会

10月：外出レク（本庄フラワーパーク）

11月：焼き物レク

12月：クリスマス会

1月：初詣（青空神社）

2月：豆まき（ホール）

3月：焼き物喫茶

事業状況報告書

デイサービスセンターポピー

1 年度総括

平成27年4月の介護報酬改正による大幅な減算が想定された中で27年度がスタートし1年が経過、デイサービスポピーは稼働率が目標の80%には到達せずほぼ横ばい、結果前年度よりも減収ということになりました。

目標の稼働率達成のために登録者数増加を掲げましたが、新規利用と利用終了(入院中を含む)の数がほぼ同数となっております。また、登録者数の増加のために計画した居宅事業所との関係構築は一定な効果はあったと思われませんが、近隣地域や明正会職員からの紹介は積極的に行えなかったこともあり、数字は挙がりませんでした。紹介をもらう為のツールが不足していたので、今後はその充実を図ります。

サービスの質の向上についてはアセスメントからニーズを抽出し新たな行事等を計画できたことで、利用者個々が選択できることが増え、満足度が向上したのではないかと思います。ただ、職員一人一人の能力に差があるので、各自が課題を考え、クリアしていくことが必要であり、それがチームとしてのサービスの質の向上に繋がると考えます。そのために日々の申し送り等から各利用者の情報を共有し、ニーズを的確に捉え、その時点での最善なサービスを展開していきます。

加算の算定については職員体制によりサービス提供加算が以前より単位数の少ないものになっております。体制を戻すべく、現職員の介護福祉士資格取得の後押しを行っていきます。

来年度は今年3月から始まった上里町総合支援事業でのデイサービスポピー及び明正会の在宅サービスが地域における重要な役割を果たすスタートの年となります。そのことを機にもう一度地域における認知度をあげ、地域に選ばれる施設になれるよう展開します。そのために各部署とスクラムを組み、地域のニーズを抽出し、そしてその情報を共有し、サービス開始に繋げていきます。その中でポピーが他部署サービスの入り口の役割の一翼を担う部署になるよう準備していきます。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ・地域交流：児玉郡市ふれあい作品展への出展
賀美小学校社会福祉施設見学

(2) 研修等事業

①施設内研修

- 6月 救急対応・看取り 10月 感染症
- 2月 看取り

②施設外研修

・埼玉県サービス事業者集団指導（5月）

（3）行事事業

- 4月 誕生会、買い物ツアー、花見（桜・高崎白衣観音、牡丹・善台寺、こいのぼり・神川水辺公園）、外食
- 5月 誕生会、買い物ツアー、花見（バラ・玉村）
- 6月 誕生会、買い物ツアー、花見（ゆり・深谷パティオ）オカリナ慰問、うどん作り
- 7月 誕生会、買い物ツアー、ボートピア
- 8月 誕生会、夏祭り、ブルーベリー狩り（美里）、梨（帯刀）
- 9月 誕生会、買い物ツアー、ふれあい作品展、敬老会
- 10月 誕生会、買い物ツアー、花見（コスモス・神川）
- 11月 誕生会、買い物ツアー、賀美小交流、こんにゃくパーク
- 12月 誕生会、買い物ツアー、年末お楽しみ会、外食、たまり漬け一座
- 1月 誕生会、買い物ツアー、初詣（玉村）、おせち
- 2月 誕生会、買い物ツアー、外食、手芸
- 3月 誕生会、買い物ツアー、外食、花見（桜・高崎）

3 稼働状況

上半期

			4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働状況	運営日数		22	21	22	23	21	22
	新規利用者数		3	1	2	0	0	3
	利用終了者数		0	0	0	1	1	1
	予防	支援1	23	30	32	31	27	31
		支援2	65	81	57	70	54	56
		予防計	88	111	89	101	81	87
	介護	介護1	176	151	150	166	153	114
		介護2	84	99	111	97	92	106
		介護3	68	67	67	79	59	76
		介護4	15	18	35	30	29	37
		介護5	15	13	14	13	14	12
介護計		358	348	377	385	347	345	
合計		446	459	466	486	428	432	
サービス加算状況	入浴介助加算		136,500	129,000	135,500	134,500	123,000	130,000
	運動器機能向上（予防）		24,750	24,750	20,250	20,250	20,250	18,000
	機能訓練（介護）		42,000	31,360	45,920	53,200	39,760	42,560
	サービス提供（予防）		5,040	4,800	4,800	4,800	4,800	5,040
	サービス提供（介護）		21,480	20,760	22,560	22,800	20,820	20,520
	送迎減算		-22,090	-20,210	-21,150	-21,150	-20,680	-21,150
処遇改善加算請求額		126,380	121,490	136,850	145,150	130,710	139,810	
保険請求額合計(処遇含まず)		2,849,173	2,703,970	2,972,716	3,003,859	2,735,898	2,795,776	

下半期

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
稼動状況	運営日数	22	21	20	20	21	23	
	新規利用者数	1	4	1	1	1	2	
	利用終了者数	2	3	2	1	1	3	
	予防	支援1	35	41	44	43	48	50
		支援2	52	54	50	43	49	56
		予防計	87	95	94	86	97	106
	介護	介護1	119	113	107	88	104	105
		介護2	118	118	107	95	106	111
		介護3	67	78	70	74	57	69
		介護4	35	29	16	14	24	19
介護5		14	14	12	12	13	12	
介護計		353	352	312	283	304	316	
合計	440	447	406	369	401	422		
サービス加算状況	入浴介助加算	142,000	132,500	124,000	114,000	123,000	120,000	
	運動器機能向上（予防）	18,000	20,250	18,000	13,500	13,500	13,500	
	機能訓練（介護）	47,600	43,120	47,520	28,560	31,360	31,360	
	サービス提供（予防）	5,040	5,520	5,040	4,800	5,280	4,560	
	サービス提供（介護）	21,180	21,120	18,720	16,980	18,240	19,080	
	送迎減算	-16,920	-17,390	-14,570	-19,270	-15,510	-8,460	
処遇改善加算請求額	127,630	134,150	115,700	101,970	118,110	114,910		
保険請求額合計(処遇含まず)	2,850,159	2,893,889	2,585,957	2,322,523	2,481,608	2,542,561		

事業状況報告書

特定施設入居者生活介護

ケアハウス 桜草

1 年度総括

平成27年度は、利用者の残存機能を最大限に活かす努力をし、ADL及びQOLの向上に対して取り組んできました。

施設として、ケアハウス及び特定施設の専門性を見出していかなければいけないという論点に立ち、辿り着いた答えが「自立支援の介護」でありました。稼働率に際しては、入退居の件数は少ないですが、状態低下に伴う入退院が多くあり、年間を通じて安定した数値を残すことができませんでした。現在、看護師一人体制のため看護体制等が確立していない事も踏まえて検討していかなければいけない事柄であります。

平成28年度は、「自立支援の介護」と「安心した生活を過ごすための体制づくり」を事業計画の軸として取り組んでいきます。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ①係活動 ※支援のための環境整備等
- ②ニーズ抽出シートを用いたカンファレンスの開催

(2) 研修等事業

①施設内研修

- 6月 看取り介護研修 救急対応
- 10月 感染症研修 身体拘束廃止
- 2月 看取り介護研修 褥瘡予防

②施設外研修

- 10月 三好春樹の新しい認知症ケア
- 3月 上里町 高齢者虐待防止啓発講座

(3) 行事事業

- 4月 ららん藤岡へ外出レク
- 5月 上里サービスエリアへ外出レク
- 6月 ららん藤岡へ外出レク
- 7月 納涼祭
- 8月 昼食バイキング
- 9月 上里サービスエリアへ外出レク
- 10月 ららん藤岡へ外出レク
- 11月 昼食バイキング

- 12月 クリスマス会 もちつき会
- 1月 新年会
- 2月 昼食バイキング 健康祈願祭
- 3月 上里サービスエリアへ外出レク

3 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働状況	新規入居者	0	1	2	2	0	1	0	0	0	1	0
	退居者数	1	2	2	0	1	0	0	0	0	1	1
	合計人数(月初)	30	29	28	28	30	29	30	30	30	30	29
	合計人数(延べ人数)	798	794	795	846	882	831	870	897	896	882	842
	特定利用人数(月初)	22	22	21	20	22	22	22	22	22	22	23
	特定合計人数(延べ人数)	558	546	554	610	630	591	630	656	667	665	637
	稼働率※特定・一般合計(入退院含む)	88.67%	85.38%	88.33%	90.97%	94.84%	92.33%	93.55%	99.67%	96.34%	98.00%	96.78%
介護度(特定)	要支援1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	要支援2	3	3	1	3	2	3	3	4	4	4	2
	要介護1	5	5	6	6	7	6	6	5	5	5	6
	要介護2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3
	要介護3	4	4	5	4	3	3	3	3	4	3	3
	要介護4	3	3	4	3	3	4	4	5	5	5	5
	要介護5	2	2	2	2	2	2	2	1	0	0	0
	平均介護度	2.3	2.3	2.4	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2	1.9	1.9
	非該当	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3
介護度(一般)	要支援1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
	要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	要介護1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2
	要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

入退居のタイムラグは短い期間でしたが、入退院の件数が多く、特に27年度上半期の稼働状況に影響がでてしまいました。

転倒事故等の入院理由でなく、基礎疾患の悪化における体調不良等での理由が多く、平成28年度の取り組みとして、疾病悪化の早期対応を実践し、入退院の減少及び稼働率の向上に努めます。

事業状況報告書

グループホーム さくらんぼ

1、平成 27 年総括

平成 27 年度グループホームは利用者様の高齢化・重度化により、初めて看取り介護を行いました。看取り介護の難しさを痛感したと共に、その経験により職員は大きく成長でき、貴重な一年を過ごせました。28 年度は看取り介護の経験を活かし、利用者様が最後までその人らしく生活を送っていただける様に、更に質の高い介護の提供の為、職員全員が施設内研修や施設外研修へ参加し、各自が自己研鑽をし、職員が利用者様のあたり前の生活を支える事が出来る様、そして職員間での情報の共有を確実にして参ります。

稼働については、待機をされている方はいらっしゃるものの、入所のお話をさせていただいても入所につなげる事が出来ませんでした。28 年度は、待機者の方の状況の把握をこまめに行い、積極的に早めの働き掛けを行う事を心掛けます。また、他部署・他病院・他グループホーム等、様々な場所より情報を得て、利用者様の入所につなげる事で目標稼働率の達成を目指します。

利用者様には、グループホームで日々の生活を楽しく・安心して、地元で暮らしている喜びを実感していただき、あたり前でその人らしく生活をしていただき、最後を迎えていただける様に支援いたします。そして、さくらんぼで過ごせてよかったと思っただけの様に職員全員で取り組んで参ります。

2、年度実施事業

(1) 事業計画取り組み事業

- ① 運営推進会議(2 ヶ月に一度、年 6 回開催)
- ② 地域住民へのさくらんぼ便り回覧(毎月)
- ③ 上里役場実地指導
- ④ 大正琴ボランティア
- ⑤ コーラスボランティア
- ⑥ 民謡ボランティア
- ⑦ カラオケボランティア
- ⑧ 外食(年 5 回)
- ⑨ お花見(4 月、5 月、6 月、10 月)

(2) 研修等事業

① 施設内研修

- 6 月看取り介護研修/救急対応
- 10 月感染症研修/身体拘束防止
- 2 月看取り介護研修/褥創予防

② 施設外研修

- ・ 介護支援専門員更新研修(5 月～7 月)
- ・ グループホーム協議会、虐待と不適切ケアについて(6 月)

- ・福祉職員プレゼンテーション研修(9月)
- ・養介護施設従事者(管理者)等向け高齢者虐待防止研修(10月)
- ・上里町主催、高齢者虐待防止啓発講座(3月)

(3) 行事事業

- 4月桜の花見、外食
- 5月ぼたん花見、外食、母の日、端午の節句、バイキング
- 6月紫陽花花見、外食
- 7月納涼祭
- 8月すいか割り、バイキング
- 9月誕生会、お月見
- 10月誕生会、外食
- 11月誕生会、外食、バイキング
- 12月誕生会、クリスマス、餅つき
- 1月誕生会
- 2月誕生会、健康祈願祭、そば打ち鑑賞、バイキング、節分
- 3月誕生会、ひなまつり

3 稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
月初入居者	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96	
月末入居者	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	95	
新規入居者	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	
退所者	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	
介 護 度 別	要介護1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
	余介護2	30	31	30	31	31	30	31	32	62	62	58	62	488
	要介護3	30	31	60	58	93	90	93	90	93	93	87	93	911
	要介護4	30	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44
	要介護5	120	124	120	97	93	90	93	62	62	62	58	62	1,043
	傾	240	231	240	217	248	240	248	212	248	248	232	248	2,852
保険請求額	1,970,244	1,895,688	1,966,149	1,954,530	2,151,586	1,947,447	2,012,373	1,727,964	2,003,337	1,995,147	1,866,429	1,995,147	23,350,041	
サービス提供	28,800	27,840	28,800	28,800	29,760	28,800	29,760	25,680	29,760	29,760	27,840	29,760	345,360	
初期加算	0	0	9,000	5,700	3,300	0	0	600	8,400	0	0	0	27,000	

事業状況報告書

居宅介護支援センターりんどう

1 27年度総括

27年度の報酬改定により居宅基本報酬単価が多少増えたものの、一方で認知症加算・独居高齢者加算が基本報酬へ包括された事に伴い、算定可能な加算請求、新規利用者獲得の運営に努めてきましたが、担当利用者の逝去・入院・施設入所から、昨年度の目標に掲げていた利用者確保には至りませんでした。

また、介護保険制度に沿った業務運営を行なわなければならないところ、27年後期分において特定事業所集中減算を招く結果となってしまった事から、今後については業務管理の徹底を図り、公正中立な居宅介護支援を行い、新規獲得と介護給付費以外の収益に努めていきたいと思っております。

尚、委託されている認定調査については27年11月までは居宅人員3名体制であった為、昨年度より約30%増の委託件数を受けることができ、生活実態把握調査委託件数については昨年同様の委託件数を受けられました。

来年度も本年同様の委託件数維持に努めていきます。

上里町では介護保険制度の地域包括ケアシステムの構築に向け、28年3月から「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始される事となりましたが、高齢者が住みなれた地域でできる限り継続して生活を送れるよう、自助努力を基本にしながら介護保険を中心としつつも、心身の状態や生活環境などの変化に応じて、適切な支援やサービスを組み合わせ提供できるよう、保健・福祉・医療の専門職相互の連携を図ると共に、地域ケア会議への参加により地域の関係者との繋がりを築き、多職種共同によるケアマネジメント支援に努めていきたいと思っております。

2 27年度実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ・居宅介護支援事業（アセスメント・ケアプラン作成・担当者会議・評価・請求業務・相談業務等）
- ・上里町生活実態把握事業
- ・神川町、他保険者要介護認定調査

(2) 研修等事業

①施設内研修

- ・6月 看取り介護、救急対応研修
- ・10月 感染症、身体拘束廃止研修
- ・2月 看取り介護、褥瘡予防研修

②施設外研修

- ・4月 児玉圏域ケアマネジャー連絡会総会

- ・ 5月 上里町ケアマネ連絡会研修
- ・ 6月 要介護認定委託調査員新任研修会
上里町ケアマネ連絡会居宅事業所研修
- ・ 7月 児玉圏域ケアマネ連絡会居宅事業所研修
上里町ケアマネ連絡会居宅事業所研修
- ・ 9月 上里町ケアマネ連絡会居宅事業所研修
- ・ 10月～12月
主任介護支援専門員研修
- ・ 11月 上里町ケアマネ連絡会居宅事業所研修
社会福祉協議会「孤立防止フォーラム I N上里」
- ・ 1月 児玉圏域ケアマネ連絡会居宅事業所研修
介護支援専門員ステップアップ研修
- ・ 2月 上里町ケアマネ連絡会居宅事業所研修
- ・ 3月 地域ケア個別会議 I
上里町ケアマネ連絡会研修
介護支援専門員レベルアップ研修

事業状況報告書

訪問介護ステーションひまわり

1 平成 27 年度総括

訪問介護ステーションひまわりは、「サービス提案型訪問介護」をコンセプトとして掲げ、事業にあたってまいりました。利用者様の自立を支援することを目的に、アセスメントを行い、事業所内カンファレンスの中で暮らしを継続できる支援を提案、提供してまいりました。また、27年12月に福祉有償運送事業を開始し、法人として掲げている「多様なニーズに対応する」ことの一端を担ってきました。

平成 28 年 4 月上里エリア定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業開始に伴い、5 月より事業休止となりますが、今後の介護保険情勢、地域ニーズ、他事業との連携等、包括的に精査し、訪問介護事業体制について継続的に検討します。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取組事業

- ①事業所内カンファレンスの実施
- ②福祉有償運送の登録及び実施

(2) 研修事業等

- ①法人施設内研修への参加
 - 6 月 看取り介護研修／救急対応
 - 10 月 感染症研修／身体拘束廃止
 - 2 月 看取り介護研修／褥瘡予防

②施設外研修参加

- ・ 集団指導

3 稼働状況

1 新規利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	1	0	0	1	0	1	1	0	1	2	0	0	7
中止	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	1	6

2 延べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援 1	23	21	20	26	25	26	24	23	25	23	22	20	278
支援 2	8	11	12	12	12	12	13	13	21	19	23	27	183
介護 1	28	29	29	29	16	18	22	25	17	25	17	18	273

介護 2	5	4	4	9	3	4	5	4	4	4	4	5	55
介護 3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	21	0	0	28
介護 4	0	0	0	0	0	3	9	8	0	0	0	0	20
介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	64	65	65	76	56	63	73	73	74	92	66	70	837

3 月別介護報酬請求状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
164,870	170,000	170,000	186,800	149,310	165,680	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
197,820	205,350	218,670	303,650	195,186	191,330	2,318,666

事業状況報告書

サービス付き高齢者向け住宅
グランドケア琥珀

1 平成 27 年度事業総括

サービス付き高齢者向け住宅グランドケア琥珀が開園して2年が経過しました。グランドケア琥珀の特色である自由な介護サービスの選択や生活スタイルを近隣の介護・福祉関係者の方に認知されはじめ、27年度当初には目標に掲げていた満床を実現することができました。

現在、排泄や移動等の介助が必要のない方が大半を占め、比較的自立度の高い高齢者に入居していただいています。しかし、27年度内において介護の重度化を理由に退居せざるを得ない入居者がおり、排泄や入浴、認知症による見守り等の支援ができないことが課題となっています。

終の棲家として選んでいただいた住宅で最後まで住み続けていくためには、地域で高齢者を支えるという視点が必要であり、事業コンセプトの「当たり前の生活の継続」のためには、グランドケア琥珀の併設事業所の利用以外にも地域の社会資源を活用し、入居者の当たり前の生活を守る必要が必要が必要です。現在数ヶ所の介護保険事業所が利用者のサービスに入っており、利用者の生活を地域で支える姿が徐々に形勢されてきております。

また、健康状態の悪化や入退院による心身機能の低下を短期集中的に支援し、各関係機関と連絡調整を行うことで、車イスから歩行、オムツからトイレへと元の生活へ戻れるよう支援し、一部の利用者で改善が見られました。

入居されている方が将来的に必ず直面する、介護の重度化や健康状態の悪化等に対して、継続して支援が行える体制の構築を目標にグランドケア琥珀で人生の最後まで自分らしい当たり前の暮らしを継続しくため、将来を見据えた住宅運営、入居者支援を行います。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ①グループ会議(勉強会)の実施
- ②医療機関・介護事業所との連絡調整及び担当者会議への出席

(2) 研修等事業

- ①法人施設内研修への参加
 - 6月 看取り介護／救急対応
 - 10月 感染症予防／身体拘束廃止
 - 2月 看取り介護／褥瘡予防

(3) 行事事業

- 4月 花見(桜)見学
- 8月 スイカ割り
- 9月 たこ焼作り

- 10月 琥珀祭
- 12月 クリスマス会
餅つき大会
- 1月 白鳥見学
- 2月 豆まき

3 稼働状況

(1) 入居・退居状況等

月	新規入居者	退去者	延べ利用人数	稼働率
4月	3	3	1,066	93.5%
5月	2	1	1,062	90.2%
6月	2	0	1,097	96.2%
7月	0	0	1,147	97.4%
8月	0	0	1,147	97.4%
9月	0	0	1,132	99.3%
10月	1	1	1,175	99.7%
11月	0	1	1,130	99.1%
12月	1	1	1,176	99.8%
1月	1	1	1,141	96.9%
2月	1	0	1,095	99.4%
3月	0	1	1,164	98.8%
計	11	9	13,532	97.3%

(2) 請求状況等

月	生活支援サービス利用状況（回数）				請求額（円）
	洗濯	清掃	送迎	買い物代行	
4月	9	0	37	2	3,671,767
5月	13	0	33	3	3,577,833
6月	18	0	39	4	3,803,466
7月	15	2	32	7	3,848,400
8月	7	2	32	5	3,834,050
9月	19	5	32	3	3,842,933
10月	25	4	34	6	3,903,833
11月	20	7	29	2	3,804,517
12月	26	13	34	3	3,918,917
1月	23	10	32	2	3,844,749
2月	28	9	30	6	3,778,199
3月	38	12	22	3	3,889,251
計	241	64	386	46	45,717,965

事業状況報告書

デイサービスセンターみのり

1 平成 27 年度事業総括

デイサービスセンターみのりでは、「選択性」「主体性」が発揮できる仕組み作りをやってまいりました。特に、機能訓練に力を入れ「当たり前の生活の継続」のため、個別機能訓練加算を取得し生活機能の維持、向上を図ってまいりました。

機能低下が見られた方を出来る限り元の生活に戻せるよう計画を組み実践し、実際に立ち上がりや歩行が向上した方や排泄や入浴の介護により日常生活が安定した方が多数おります。

現在は、グランドケア琥珀の入居者が利用の中心ではありますが、今後は、今ある介護の力を地域の住民の方々に実感していただき、地域に必要とされる事業所へ変貌したいと思えます。

また、地域の利用者や居宅介護支援事業所へみのりの特徴をより分かりやすくするため、また、職員全員が同じ目標に向かい、立ち止まった時に振り返る指標として新たに処遇方針を作成しました。

大里広域でも総合事業がスタートし、デイサービスは大きな岐路に立たされており、サービスを中止や廃止する事業所が出てくるものと推察されます。

みのりは、事業所として明確なビジョンを持ち、個々の利用者へサービスの提供を行います。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ①グループ会議(勉強会)の実施
- ②定例会議の実施
- ③カンファレンスの実施

(2) 研修等事業

- ①法人施設内研修への参加
 - 6月 看取り介護／救急対応
 - 10月 感染症予防／身体拘束廃止
 - 2月 看取り介護／褥瘡予防
- ②施設外研修への参加 3名

(3) 行事事業

- 4月 花見(桜)見学、おやつ作り、買い物ツアー
- 5月 新緑見学、おやつ作り、買い物ツアー
- 6月 深谷・熊谷巡り、おやつ作り、買い物ツアー
- 7月 ゆり見学、おやつ作り、買い物ツアー

- 8月 流しそうめん、おやつ作り、買い物ツアー
- 9月 初秋巡り、おやつ作り、買い物ツアー
- 10月 琥珀祭、コスモス見学、おやつ作り、買い物ツアー、避難訓練
- 11月 紅葉狩り、おやつ作り、買い物ツアー
- 12月 クリスマス会、おやつ作り、買い物ツアー
- 1月 新年会、おやつ作り、買い物ツアー
- 2月 節分（豆まき）、おやつ作り、買い物ツアー
- 3月 梅見学、おやつ作り、買い物ツアー

(4) 体制及び介護給費算定等

10月 定員変更 10名 → 25名

3 稼働状況

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規者数		2	4	2	1	0	0
利用実人数		27	29	31	31	31	31
延べ利用回数		253	280	281	301	300	293
1日平均利用者数		8.4	9.0	9.4	9.7	9.7	9.8
稼働率		84.3%	90.3%	93.7%	97.1%	96.8%	97.7%
月別介護度別利用延べ回数	要支援1	6	6	7	7	7	6
	要支援2	3	4	3	2	1	0
	要介護1	29	32	43	45	47	54
	要介護2	77	68	64	66	68	53
	要介護3	61	120	115	121	128	146
	要介護4	26	0	6	10	7	9
	要介護5	21	8	5	9	9	2
加算算定状況回数	入浴介助	152	189	195	224	228	227
	送迎減算	221	226	224	254	264	258
	運動器機能向上	4	4	5	5	5	4
	個別機能訓練Ⅱ	26	29	28	33	34	33

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
新規者数	2	0	1	1	1	0	14	
利用実人数	33	33	33	33	33	33	378	
延べ利用回数	306	315	352	326	329	381	3,717	
1日平均利用者数	9.9	10.5	11.4	10.5	11.3	12.3	10.2	
稼働率	39.5%	42.0%	45.4%	42.1%	45.4%	49.2%	68.6%	
月別介護度別利用延べ回数	要支援1	6	6	5	4	3	3	66
	要支援2	0	0	0	1	2	2	18
	要介護1	49	47	65	60	55	100	626
	要介護2	65	83	79	80	88	93	884
	要介護3	146	148	166	154	156	156	1,617
	要介護4	10	8	17	8	9	9	119
	要介護5	3	0	0	0	0	0	57
加算算定状況回数	入浴介助	234	243	251	233	253	285	2,714
	送迎減算	261	277	308	304	305	346	3,248
	運動器機能向上	4	4	4	4	4	3	50
	個別機能訓練Ⅱ	29	28	27	25	23	29	344

(2) 請求状況

	4月	5月	6月	7月
保険請求額	1,674,928	1,855,441	1,924,570	2,016,350

8月	9月	10月	11月	12月
2,025,615	2,065,568	1,847,831	1,934,202	2,228,630

1月	2月	3月	計
2,014,499	2,128,608	2,370,593	24,089,834

事業状況報告書

訪問介護ステーション雅

1 平成 27 年度事業総括

訪問介護ステーション雅では、ケアマネジャーと連携を密にとり、過不足なく介護サービスが提供できるよう努めてまいりました。

毎月利用者の状況報告や変化等がないか直接伝達することで、利用している事業所から一定の信頼を得ることができたと思います。また、併設のサ高住の入居が進むにつれ、実利用人数も増え、稼働状況は毎月 200 回以上の利用回数を確保することができました。

今後は、利用延べ回数の増加を図るため、より近隣の居宅介護支援事業所との連携や信頼の獲得が必要になります。訪問介護ステーション雅の特徴や特色を地域に広め、認知され利用に繋がるよう関係事業所以外にも営業活動を行います。

また、地域や居宅介護事業所から信頼を得る為には、利用者の生活状況の変化を的確にケアマネジャーに伝達し、必要な支援に結び付けていく必要があります。

利用者の心身の期状況や日常生活に変化が生じていないか、生活で困難になっている場面がないかを観察し、利用者のニーズを的確に捉えサービスに反映させていきます。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ①グループ会議(勉強会)の実施
- ②定例会議の実施

(2) 研修等事業

- ①法人施設内研修への参加
 - 6月 看取り介護／救急対応
 - 10月 感染症予防／身体拘束廃止
 - 2月 看取り介護／褥瘡予防
- ③施設外研修への参加 1名

(3) 行事事業

なし

3 稼働状況

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規者数		1	2	2	2	1	0
利用実人数		19	21	23	25	26	26
延べ利用回数		203	258	230	239	238	232
1日平均利用回数		6.8	8.3	7.7	7.7	7.7	7.7
月別利用延べ回数	介護予防	6	7	7	8	5	3
	身体 20分未満	0	23	24	0	0	0
	身体 20-30分	63	64	43	66	75	65
	身体 30-60分	0	0	0	0	0	0
	身体 60分以上	0	0	0	0	0	0
	生活 20-45分	3	0	0	0	0	0
	生活 45分以上	35	30	27	33	37	38
	身体 20-30分 生活 20-45分	78	100	106	108	105	113
	身体 20-30分 生活 45-70分	0	13	0	0	0	0

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規者数		0	1	0	0	0	0	9
利用実人数		24	25	23	22	22	22	278
延べ利用回数		236	227	207	217	202	211	2,700
1日平均利用回数		73.6	7.6	6.7	7.0	7.0	6.8	7.4
月別利用延べ回数	介護予防	3	3	2	2	2	2	50
	身体 20分未満	0	0	0	0	0	0	47
	身体 20-30分	68	48	33	36	34	34	629
	身体 30-60分	0	0	5	4	4	5	18
	身体 60分以上	0	0	0	0	0	0	0
	生活 20-45分	0	0	0	0	0	0	3
	生活 45分以上	39	38	45	36	36	41	435
	身体 20-30分 生活 20-45分	103	112	108	106	104	107	1,250
	身体 20-30分 生活 45-70分	0	0	0	0	0	0	13

(2) 請求状況

	4月	5月	6月	7月
保険請求額	478,274	616,614	544,500	572,871

8月	9月	10月	11月	12月
578,372	533,291	515,427	498,023	467,012

1月	2月	3月	計
446,108	436,882	447,504	6,134,877

事業状況報告書

地域密着型ユニット型介護老人福祉施設
四季咲きの杜

1 年度総括

四季咲きの杜は「生活の場」であると同時に、「地域の介護拠点」でもあります。施設内の入居者の生活を支えることはもちろん、施設外にも目を向けていかななくてはなりません。

介護事業所としての資源やノウハウ等を地域に還元していき、ボランティアの受け入れや自治会との関わり、地域の方々の介護相談など、地域住民のニーズを把握し地域貢献を果たしていくことが求められています。

これから先、介護事業所は様々な変革にさらされることとなります。四季咲きの杜でも時代に合わせた変革を遂げていきます。地域における四季咲きの杜の役割なども再考し実践していくことが求められます。現在のユニット型介護老人福祉施設としての機能を向上しつつ、新しい時代のユニット型地域密着型介護老人福祉施設のスタイルの確立を四季咲きの杜は目指します。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

ア) 地域に開かれた施設運営

- ・ 四季の里夏祭りへ参加
- ・ 四季咲きの杜祭りの開催
- ・ 運営推進会議の定期開催（2ヶ月に1回）

イ) 利用者情報の共有等

- ・ タブレット端末の利用
- ・ 24Hシートの作成
- ・ 入居者及び入居者のご家族参加のカンファレンス開催

ウ) 介護力の向上

- ・ チームワークの構築 ※各階に運営コンセプトの作成
- ・ ユニットミーティングの活用で、入居者処遇の改善等の実施
- ・ 法人施設内研修への参加
- ・ 外部研修への参加

エ) 健全な組織風土の構築

- ・ 接遇マナーの向上の取り組み
- ・ 人材育成及び働きやすい職場作りへの取り組み

(2) 研修等事業

①施設内研修

- ・ 6月 看取り介護研修/救急対応
- ・ 10月 感染症研修/身体拘束廃止
- ・ 2月 看取り介護研修/褥瘡予防

②施設外研修

- ・ 認知症について新しいケアの考え方
- ・ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初心者コース
- ・ これからの認知症ケアの関わり方
- ・ 生活リハビリ講座2015 脳卒中片マヒ者の理解とケア
- ・ 夏季セミナー 「高齢者虐待防止」
- ・ リーダーのための職場の人間関係力アップ
- ・ BPSD への関わり方
- ・ 生活リハビリ講座2015 コミュニケーションとケアの7原則
- ・ ユニットケア2016 研修フォーラム
- ・ 認知症介護基礎研修カリキュラム

(3) 行事事業

- ・ 青空昼食会（焼きそば）
- ・ 流しそうめん
- ・ 居酒屋バイキング
- ・ 四季咲きの杜祭り
- ・ 四季の里 納涼祭
- ・ 敬老会（つきみ荘）
- ・ 秋のさんま祭り
- ・ クリスマス会
- ・ 新年会
- ・ 寿司バイキング
- ・ 節分
- ・ ひな祭り
- ・ 端午の節句
- ・ ドライブ
- ・ お誕生日会

事業状況報告書

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
蛍ケアセンター

1 年度総括

蛭ヶアセンターは、当法人が掲げる在宅・施設サービスのそれぞれが相互に連携することにより、地域住民のニーズに応え幅広い「生活の選択技」の中で、その人らしい生活を支えることを目的として平成27年12月1日に事業開始しました。

これまで、当地域において、重度の要介護になった場合には、家族の介護力がない方達夜間帯の介護力がないケース等は、施設入所、医療機関への入院等の選択技しかなかったのが現実にあります。しかし、「人は誰しも自宅にいたい」という思いをもっています。その思いに対して、私達は、介護事業を運営していく中で、少しでも力になればと考えています。開設間もないこと、地域で初めての事業体であること理由から、まだまだ、地域において周知されている状況ではありません。法人内居宅介護支援事業所のみではなく、外部の居宅介護支援事業者が担当されている利用者の方も半数いること、サービス導入時に医療機関からの紹介が多いことなどから、サービス提供を通じて、利用者やその利用者に関わる方達、外部の介護事業所、病院、自治会、行政等と関わる中で、信頼を得ていくことが、蛭ヶアセンターの事業を周知していくことに繋がり、地域において欠かすことのできない事業体になると考えています。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

ア) 蛭ヶアセンター利用の居宅介護支援事業所

毎月の実績・モニタリング持参時に、事例等にて情報を行います。

イ) 蛭ヶアセンター利用していない居宅介護支援事業所

蛭ヶアセンターの事業内容を周知してもらう為の定期訪問の実施。

※事例内容等を伝えます。

ウ) 医療機関へのアプローチ

- ・ 医療機関の地域連携室へ、退院後の在宅復帰の受け皿として周知してもらえるよう、事例等にて情報共有を行います。
- ・ 訪問看護利用者の医師の指示書等の依頼、受け取り等の連携時に情報提供等を行う。
- ・ 2か月毎の、蛭ヶアセンター主催の介護・医療連携推進会議の参加を通じて、サービス内容の周知・連携を図ります。

エ) 保険者・地域包括支援センター・保険所等

- ・ 上記主催の研修等への積極的参加
- ・ 地域ケア会議等への事例提示、困難事例の受け入れを行います。
- ・ 難病患者（ALS・中心静脈等）の利用者の受け入れを行います。

オ) 自治会・民生委員等

- ・ 2か月毎の、蛍ケアセンター主催の介護、医療連携推進会議の参加を通じて、サービス内容の周知・連携を図ります。
- ・ 自治会回覧板に蛍ケアセンター新聞を回覧して頂き、事業所の周知を図ります。
- ・ 自治会の会合等に参加し、地域住民の方との信頼を深めていきます。

(2) 研修等事業

①施設内研修

2月3日 看取り介護研修

②施設外研修

1月29日 定期巡回・随時対応サービス利用促進セミナー（さいたま商工会議所）

3月22日 定期巡回・随時対応サービス事業者連絡会（さいたま共済会館）

3 稼働状況

平成27年度 蛍ケアセンター稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
稼働状況	運営日数									31	31	29	31	122
	新規サービス利用者数									4	2	3	3	12
	サービス終了者									0	0	0	1	1
	要介護1 I									0	0	0	0	0
	要介護1 II									1	2	2	4	9
	要介護2 I									0	0	2	1	3
	要介護2 II									1	1	2	3	8
	要介護3 I									1	1	1	1	4
	要介護3 II									0	0	0	0	0
	要介護4 I									1	1	1	1	4
	要介護4 II									0	0	0	0	0
	要介護5 I									0	0	0	0	0
	要介護5 II									0	0	1	1	2
	平均介護度									2.25	2.16	2.25	2.18	2.21
	定期巡回I 合計人数									2	2	4	3	11
	定期巡回II 合計人数									2	4	5	8	19
総登録人数		0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	9	11	

事業状況報告書

居宅介護支援センター彩

1 年度総括

平成27年12月1日、本庄市定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所蚩ケアセンター開設と共に居宅介護支援事業所彩も同時開設となり、本庄市の方を中心に居宅介護支援事業を行い平成28年3月31日現在利用者総数31名となっています。

ご本人様とご家族様の意見が異なり中々在宅復帰の支援が行なえていない部分はあるが、直接ご家族様による相談や地域包括支援センターから、入院されている方の在宅復帰の支援の為に紹介を受け、退院後の居宅サービス計画作成を行っている。

在宅生活が困難な方の早期相談を受け、地域包括支援センターや介護サービス事業所、医療系サービスとの情報交換、連携を図りながら出来る限り在宅で生活して頂ける支援を行っていく。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

- ①要介護状態になっても可能な限り安心して在宅生活を送れる為のケアプランを作成。
- ②利用者や家族の生活に対する不安・相談を真摯に受け止め、不安解消のために主治医や医療機関との連絡を取り情報を得て連携を図っていく。
- ③必要なサービスを受ける事ができ、残存機能を活かして自立した生活を送れる様に、事業所への情報交換や連絡調整を行う。
- ④介護保険についての説明を行い、契約者に代わり介護保険関連書類の申請代行
- ⑤定期巡回随時対応型訪問介護看護との相談・情報交換を密にとり、24時間在宅生活を支援する為に連携していく。
- ⑥新規事業開始により利用者・家族への説明を行い、新たなニーズを見つけ社会資源の発掘に努める。

(2) 研修等事業

- ①施設内研修
 - ア) 看取り研修参加
 - イ) 処遇マナー研修参加
- ②施設外研修
 - ア) 地域ケア会議参加
 - イ) 児玉郡市介護支援専門員連絡会参加

3 稼働状況

平成27年度 居宅介護支援事業所「彩」稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
稼働状況	介護度別	要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	7
		要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	7
		要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	5	5	23
		要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	7	8	27
		要介護 3	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	7	7	27
		要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	3	3	13
		要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	5
		平均介護度	0	0	0	0	0	0	0	0	2.26	2.13	2.21	2.37	2.24
新規利用者数		0	0	0	0	0	0	0	0	23	3	1	2	29	
利用終了者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	
前年度総利用者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
今年度総利用者数		0	0	0	0	0	0	0	0	26	28	27	28	109	
加算状況	初回加算(300単位)									23	2	1	2	28	
	入院時情報連携加算 I (200単位)													0	
	入院時情報連携加算 II (100単位)													0	
	退院・退所加算 (300単位)													0	
前年度保険請求合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
今年度保険請求合計		0	0	0	0	0	0	0	0	355.994	318.014	294.182	316.832	1285.022	